

## 1 はじめに

オレゴン州ポートランドは、自然の美しさを残しながら厳格な都市計画で、発展してきた都市である。町の中心を流れるウィラメット川には、多くの橋梁が存在しており、それぞれの年代に建てられた橋が川との美しい景観を奏でている。

住民参加が有名でポートランド市において、住民へのインタビュー、行政関係者との意見交換、市役所訪問等を通して、「ポートランドの住民自治とは」「リーダーシップとは」、自治の本質に向き合いました。

## 2 市内探索

市内探索として、ポートランド到着の翌日、8月24日に自転車でポートランド市内を探索した。その目的は、ポートランドは、スローライフ都市として、地元でとれた有機栽培、採れたての食材、地元で造ったビールが人気である。食を通じて、ポートランドという都市の「アイデンティティ」を住民はどのように表現しているのか、調査することが目的である。

今回の探索で気づきは、2つあった。

一つ目は、ポートランドの方が顔の見える関係、ローカルを大事にすることである。インタビューを通して、基本的に日本の商品流通に対する信頼感とは違い、アメリカの商品流通は信頼されていないこと多く、そのため、ポートランドの住民は、顔の見える信頼関係（ローカル）を大事にしており、地域でお金が還元されることを意識している。そのことが、ポートランドの資産（アセット）になっていることを気づきました。

二つ目は、インタビューの難しさである。アメリカは地域により、所得、仕事、失業率、治安、高等教育を受ける率がドラスティックに分かれている。インタビューするにあたり、ローカルを大事にしていると思われる層を中心にインタビューをしてみたのではないかと反省したところである。このローカルを大事にする層は、比較的所得層が高いと思われる層であり、所得が低いローカルを大事にする方々の話を聞くべきであったと反省したところである。

あらためて、今回の市内探索では、街を自転車でまわり、ポートランドの魅力、資産（アセット）を肌で感じる事ができた。

## 3 イノベーション・ラボ・インターナショナル

8月27日に行われたイノベーション・ラボ・インターナショナルでは、Mr.Charlie Stephens氏とMr.Brent Mahan氏をお招きして、ごみ屋敷対策について話し合った。

お互いの価値観・社会環境が違う中、真剣にコミュニケーションを取り、問題の本質に向き合うことにより、一つの解決策を提案できることが分かりました。

行政と住民で立場が違う場合も、お互いにコミュニケーションを取ることで、ひとつの解決策の提案が出来る可能性を感じたところです。

#### 4 自治は一日にして成らず

市内探索、イノベーション・ラボ・インターナショナル等のポートランドにおける一連の講義を通して、今回の私が学んだことは、二つあります。

一つ目は、「自治は一日にして成らず」ということである。ポートランドは今でこそ、「住民自治」の先進的な都市として有名であるが、これは1970年代からの住民と市行政の継続的な取り組みのもとに、住民と行政と一緒に手を取り合い、多くの人の意見を聞き、住民の合意の下で、問題解決をする手法をとった長い歴史があった。

そしてそのことが、「コミュニティ活動が活発なまち」「環境にやさしい街」「都市再生の成功例」として、先進事例のまちとして、遠い日本でも注目されている都市となった。

今回イブニングサイトビジットで訪れた全米退職者協会(AARP)等のゲストスピーカーから、「日本の少子高齢化問題に大変興味がある、今後先進国は高齢化が進む、日本はそのトップランナーであり、その解決策に注目している」等の意見が出た。

今、日本が直面している少子高齢化や環境の問題は、今後、先進国で必ず問題になる(なっている)問題である。日本においてこの問題を解決する方法を世界各国が注目しており、ポートランドの住民自治のように、先進的な事例として世界が注目する施策になりうると感じたところである。

#### 5 リーダーシップとは

二つ目は、リーダーシップとはである。今までの私のリーダーシップのイメージは、まさしく選ばれたカリスマが皆を導くというイメージであった。ポートランドの様々な体験から、リーダーシップとは色々な形があって、色々変化していくものだと思い知った。

日本で、行政の職員だから等の立場で意見ということが多かったが、「街を良くするには」という観点から、住民の方と問題や課題を共有して一緒に解決に導くという手法がこれからの時代、特に少子高齢化が進み、価値観が多様化している日本において大変参考になった。

ポートランドで感じたことは、これからの自治体職員に求められるのは、問題や課題について住民と一緒に寄り添う覚悟が必要ではないかと感じたところである。

#### 6 最後に

最後にポートランドで多くの準備をしていただいたJaLoGoMaスタッフの皆様、様々な場面で色々とお助言をしていただいたPSUの関係者の皆様、様々な場面で学習のフォローしてい

ただいた東京財団の皆様，私を一週間もポートランドに快く送り出してくれた柏市役所の職場の皆様，今回の研修に関わった全ての皆様にこのような素晴らしい機会を与えてくれた皆様に感謝いたします。

【ポートランド州立大学にて LET KNOWLEDGE SERVE THE CITY 「知識をもってまちに奉仕せよ！」】

